



「行動人紹介ホームページ」オープン!

身近な「行動人」を紹介しながら、秋田の元気を見えるようにするホームページです。皆様も身近な「行動人」についてお知らせください。

昨年、秋田県生涯学習推進本部は、新たに「秋田県生涯学習ビジョン」を策定しました。このビジョンでは、本県の生涯学習の将来像を「知と行動が結びついたクリエイティブな循環型社会」としています。さらに、「学んだことを行動に結びつける」という点を重視し、県民一人一人の行動力が結集して活力ある秋田をつくる原動力になることを期待しています。そのために、「すべての県民が行動人になる」ことを目指す人間像として掲げています。

このホームページでは、身近な行動人に光をあてて紹介することによって、秋田の元気を県民に見えるようにします。そして、ホームページを閲覧した人たちが、行動人を意識し自らも行動人となっていくことを目指しています。

トップページ「今日の行動人」

「今日の行動人」では、新聞や広報紙、ホームページなどで紹介された行動人の情報と独自に取材した行動人の情報を最新のものから掲載日順に一覧にしています。広報紙やホームページの情報は、PDFファイルや関連サイトにリンクしているものもあります。



取材記事

トップページ下部には、独自に行動人を訪問し、編集した最新の取材記事が掲載されています。県内をくまなく巡回し取材したオリジナルの行動人情報です。行動人の思いや具体的な活動が見えるような記事の作成を心がけています。ぜひ一度お読みください。なお、**他の取材記事も見る** から取材記事の一覧を見ることができます。

書を学び続けている人が、「行動人」の話を聞き、一歩を踏み出すことが大切との思いを込めて書きました。



00167

長沢 薫さん

田舎 / 読書 / 文化(スポーツ)交流

ARTICLE

大学で書を読み、図書館は本屋として勤務。もう一度書について学びたいと大学館に入りました。中国語検定、日本語検定、中国語検定の学級級認定を学ぶうちに、自分の本が分り、もっと書に寄り添いたければと強く感じるようになりました。と同時に、改めて自身の読書に、基礎、基本に書きかけ、自ら向き合っていました。

執筆を辞め、新たな一歩を踏み出したとき、目に覚えたことだった。秋田の生涯学習がめざす人間像である「行動人(こうどうびと)」の姿を見ました。このとき自分の中で何か響いた感じがして、書に話しかけました。そして、これまで自分が学び続けてきた「書」というものに、一人でも多くの人に読んでほしいという思いが湧きあがりました。一歩を踏み出すことが大切との思いを込めて「行動人」の話を書きました。

書を読んでも、初心を忘れずに取り組んで行きたいと願います。強い土壌を築いてこそ、一歩一歩進んでいけると信じています。



「行動人」の姿を秋田県生涯学習推進本部で撮影



読書 - 基本を大切にしながらの読書仲間
長沢さん

「行動人を紹介する」

ページ上部の「行動人を紹介する」をクリックすると、行動人を紹介するメールフォームに移動します。このホームページは身近な行動人の紹介を目指していますので、ぜひ皆様のお近くに紹介したい行動人がいらっしゃいましたら情報をお寄せください。

この他、行動内容や地域などで検索する機能もあります。地域に根ざした最新の情報を常にお届けできるよう心がけていますので、一度ご覧ください。

行動人紹介ホームページ

<http://lifelong.akita-kenmin.jp/koudoubito/index.php>

行動人 検索

※「まなびサポート秋田」トップ画面にリンクバナーがあります。

「秋田県社会教育主事連絡協議会研修会」

10月19日 由利本荘市

秋田県教育庁中央教育事務所由利出張所 社会教育主事 鈴木 智 王

秋田県社会教育主事連絡協議会は、会員相互の提携を密にして専門性の確立を図り、社会教育の振興に努めることを目的として運営されています。県北・中央・県南の各地区に社会教育主事協議会があり、その団体間の連絡調整と各市町村の独自性を全体研修に生かす役割を果たしています。今年度の秋田県社会教育主事等研修会（兼）秋田県中央地区社会教育主事協議会第2回研修会は、10月19日（金）に、昨年12月に開館したばかりの由利本荘市文化交流館「カダーレ」を会場に行われました。当日は、県内各地から社会教育主事や関係者が集まり、まだ新築の香り漂う会場から新しい時代を担う社会教育の雰囲気を感じながら研修が始まりました。

①研修1 「秋田市子ども読書活動推進計画」について

講師：秋田市教育委員会生涯学習室 主席主査 長谷川 英悦氏

平成24年度から28年度までの5カ年計画である「秋田市子ども読書活動推進計画」の策定の背景から概論についての講義が行われました。子どもの生きる力を育むため、発達段階に応じて家庭や学校、地域において読書活動を重視することや、学校図書館の再生から自立までを目指すことについてお話しいただきました。



②研修2 「由利高原鉄道と地域の活性化」について（移動研修）

講師：由利高原鉄道株式会社 代表 春田 啓郎氏

由利高原鉄道「羽後本荘駅～矢島駅」に乗りながら、由利高原鉄道の歴史や赤字ローカル線問題の現状と課題、経営の基本理念についてお話をいただきました。約40分間、秋の景観を楽しみながら、「田舎には住んでいる人の気づかない素晴らしいもの（貴重な癒やしの風景）がたくさんある」ことを実感できました。



③施設見学 「天寿酒造株式会社」（由利本荘市矢島町）・「カダーレ」（由利本荘市東町）

矢島駅前にある「この酒で百歳まで」のキャッチフレーズで有名な「天寿酒造」の見学では、地元の食材と伝統に拘った酒造りの意義について学びました。そして主会場「カダーレ」に戻っての見学では、新施設建設の経過や設備の詳細、施設内にある中央図書館を含めた利用状況等、これからの文化複合施設のあり方を学びました。

秋田の風土、伝統、人、資源を今後どう生かすべきか。社会教育の役割は大きくなるばかりと実感しました。

「平成24年度秋田県公民館大会」

8月23日 にかほ市

仁賀保公民館 主査 安倍 はと子

にかほ市で半世紀ぶりに行われる今年度の秋田県公民館大会。テーマは、平成26年に秋田県で開催される国民文化祭につながるようなものにと、「地域文化の継承と創造」と決定し、せっかくなにかほ市で開催されるのだからと、にかほ市らしい心こもったおもてなしの大会となるよう心がけました。

基調講演 「守るべき文化と加えるべき文化」

講師：有限会社エフツーゾーン 代表取締役 海老名 保氏

大会のテーマをそのまま実践されている、秋田の海を山を守る正義のヒーロー超神ネイガーの生みの親である海老名保氏に講演していただきました。

にかほ市で幼少期を過ごし、海の中の光景、鳥海山の空気に囲まれて育った感性が、超神ネイガーを作り出すために、絶対に欠かせない要素だったということでした。秋田でヒーローショーをやりたいという思いから、方言を名前に使い、なまはげの「なぐごはいねが」から「ネイガー」と名付けるなど、秋田でやるからには秋田のものに特化した方が、絶対に親しまれるはずだと思っていたところ、本当に県民から愛されるヒーローとなりました。発想や技術、貪欲なまでの知識欲や行動力、全部がバランスよくあれば、お金をかけた大きいことを簡単に超えることができるという、海老名さんの情熱のこもったお話に引き込まれました。



シンポジウム テーマ「地域文化の継承と創造」

コーディネーター：国際教養大学	教授	勝 又 美智雄氏
シンポジスト：有限会社エフツーゾーン	代表取締役	海老名 保氏
鳥海山小滝舞楽保存会	会長	吉川 栄一氏
NPO法人秋田21女性の会	理事長	加賀谷 征子氏

吉川さんからは、鳥海山小滝舞楽保存会についての活動内容や、担い手不足の問題についてお話していただきました。戦時中中断したこともあり、多くの伝承者が戦死するなか、生き残って死にもの狂いで残してくれた諸先輩方の意を無にすることはできないという熱い思いが伝わりました。

加賀谷さんからは、何か面白いことをやろうという主婦の集まりが始めたイベント等について、お話をいただきました。「秋田県には何もなし」とアンケートに答える方が多いことに対する、エッ！という驚きを、「それは秋田の観光にある」と再認識しようとして始めたこれまでのイベント等について、詳しく聞くことができました。

限られた時間でしたが、コーディネーターの勝又教授のおかげもあり大変有意義なシンポジウムになりました。

最後に、地域文化の重要性を再認識し、地域社会の活性化と地域文化の発展の契機となるように重点事項が確認され、大会宣言となりました。



あきたの生涯学習—まなびピア21— 第43号（平成24年11月30日）

編集・発行／秋田県生涯学習センター

（所在地）〒010-0955 秋田市山王中島町1-1（TEL）018-865-1171（FAX）018-824-1799

まなびサポート秋田

<http://lifelong.akita-kenmin.jp/>

秋田県生涯学習センターHP

<http://www.pref.akita.lg.jp/lifelong/>

秋田県生涯学習センターE-mail

sgcen002@mail2.pref.akita.jp

